

## 「中山間地域に関する住民意識調査」について

令和2年10月2日  
中山間地域振興課

### 1 趣 旨

平成25年度に実施した中山間地域の暮らしに対する「住民意識調査」のその後の変化等を把握し、次期「中山間地域振興計画」の基礎資料とするために実施した本調査の実施結果について報告する。

### 2 調査の概要

調査時期	令和2年4月16日（木）～令和2年5月15日（金）
調査方法	郵送法（調査票を郵送）
調査対象	中山間地域及び都市部に在住する18歳以上の男女5,000人（無作為抽出） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域 3,000人 7市町：府中市、庄原市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、大崎上島町、世羅町</li> <li>・都市部 2,000人 2市：広島市、福山市</li> </ul>
有効数	2,743人（有効回答率：54.9%）
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 中山間地域への印象（中山間地域との関わり、居住の意向、行っても良い活動など）</li> <li>◇ 生活環境の評価（居住地への愛着、生活の満足感、地域における課題、将来への不安など）</li> <li>◇ 幸福感について（幸福度、重視する要素など）</li> </ul>

### 3 調査結果のポイント ～詳細は別紙のとおり～

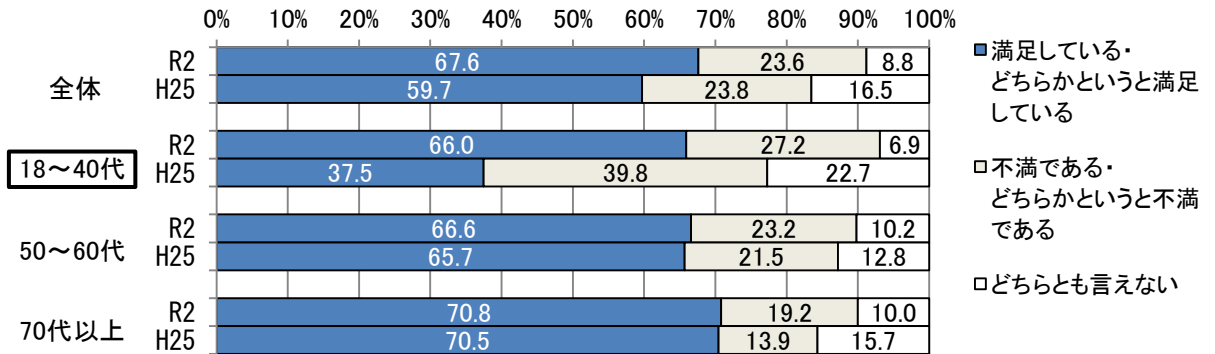
- これまで実施してきた中山間地域の価値に共鳴する若い世代を呼び込む取組や、地域ならではの価値を強みとして積極的に生かすための人材育成の取組などにより、特に18～40代の若年層において、中山間地域の生活に対する満足感が前回調査から大きく高まっている。
- また、中山間地域の住民の約6割が「幸せである」と感じており、重視する要素としては「健康状況」との回答が最も多く挙がっている。特に、現役世代である18～40代では、他世代に比べ、仕事の充実や就業状況といった「仕事面の要素」と自由な時間や友人関係、充実した余暇といった「暮らし面の要素」の両方が重要な要素として高くなっている。
- 一方で、人口の減少などに伴い、空き家の増加や交通サービスの縮小など、地域において様々な課題が生じており、中山間地域に居住する住民の多くは、将来への不安を抱えている。不安の要素としては、田畑の管理や移動手段的確保、獣害の発生といった中山間地域特有の課題が、都市部を大きく上回っており、今後、地域の課題解決に向けた担い手の確保や新たな仕組みづくりへの対応を一層強化していく必要がある。

## 【主なポイント】

### ■ 地域生活の満足感

- 中山間地域の住民の約7割が地域生活に概ね満足感を抱いており、前回調査（平成25年）と比べて、特に若年層（18～40代）の満足感は高まっている（28.5ポイント増加）。

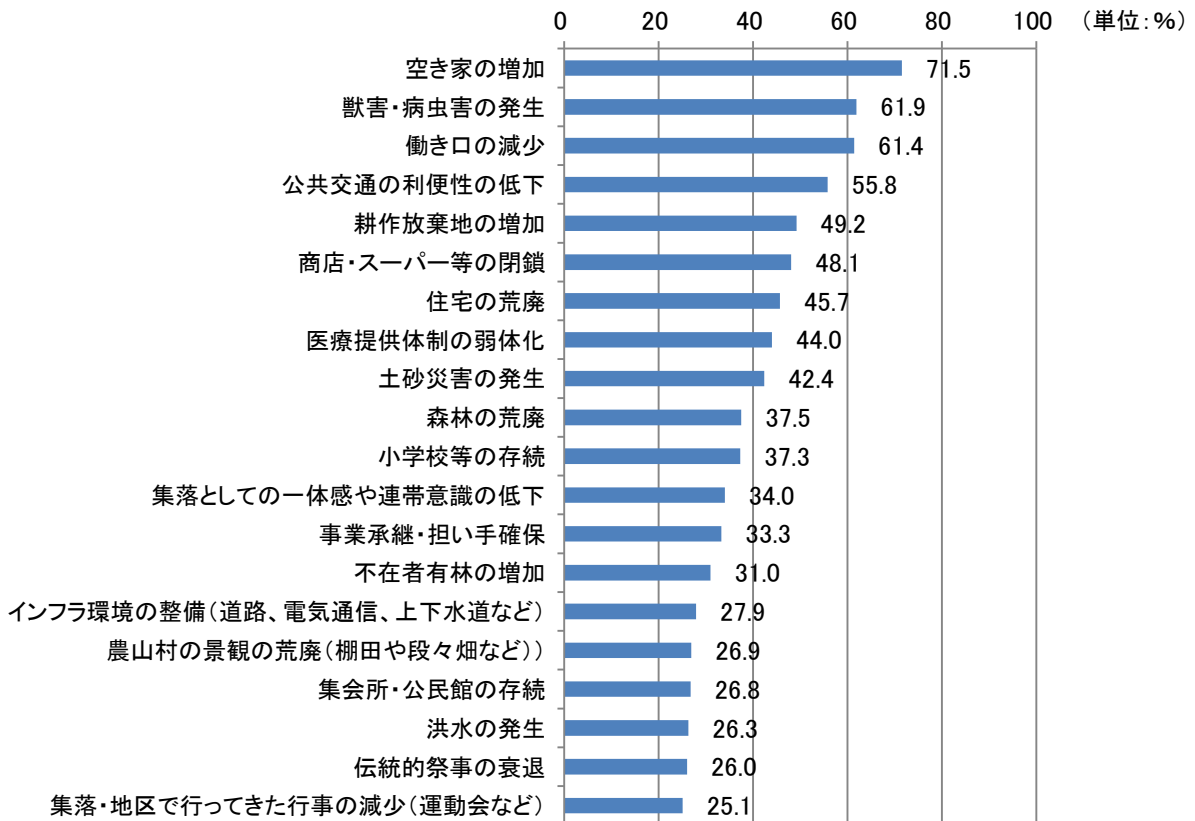
### 【地域生活の満足感】（中山間地域）



### ■ 地域における課題

- 7割を超える住民が「空き家の増加」を課題として挙げている。また、5割以上の住民が「獣害・病虫害の発生」、「働き口の減少」、「公共交通の利便性の低下」を課題に挙げている。

### 【居住地で発生している問題や現象】（中山間地域）（上記項目）（複数回答）

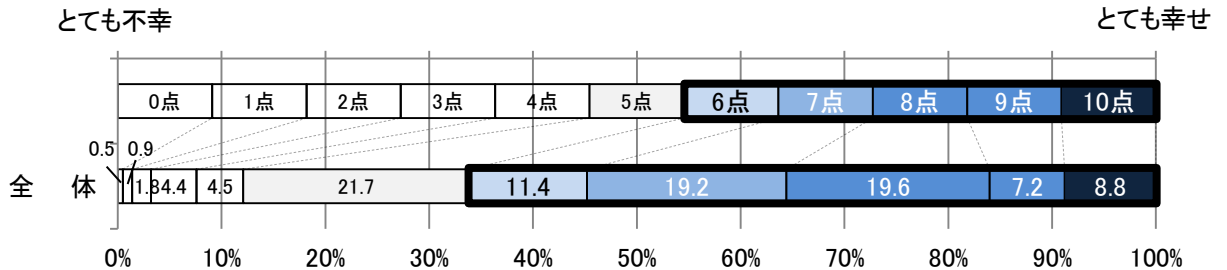


※上位項目：居住地において発生している問題や現象として回答された上位20項目

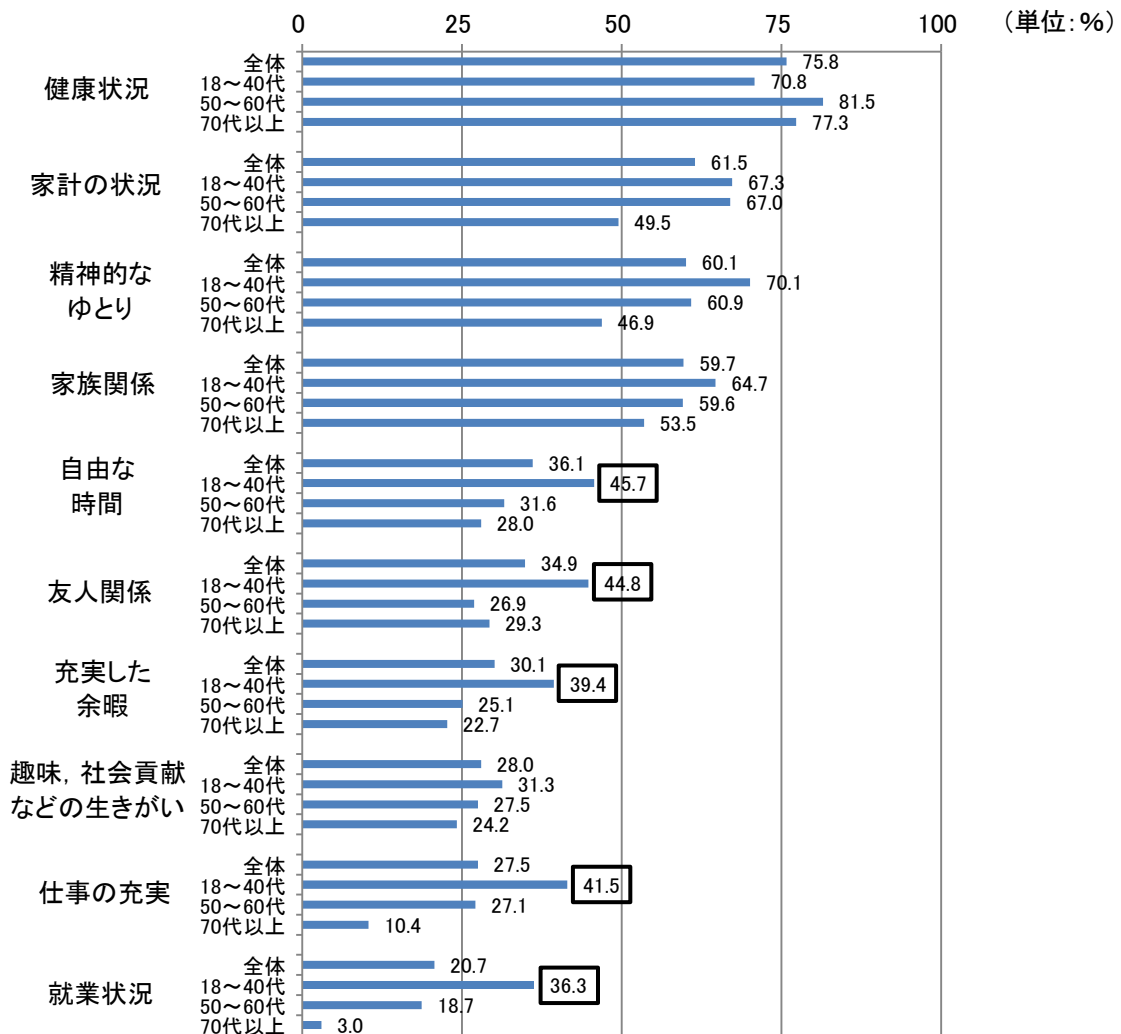
■ 幸福感

約6割の住民が幸福を感じている。重視する要素として、若年層では、「自由な時間」、「友人関係」、「充実した余暇」といった暮らしの要素と、「仕事の充実」、「就業状況」といった仕事の要素が他の年代に比べて高くなっている。

【幸福度】(中山間地域)



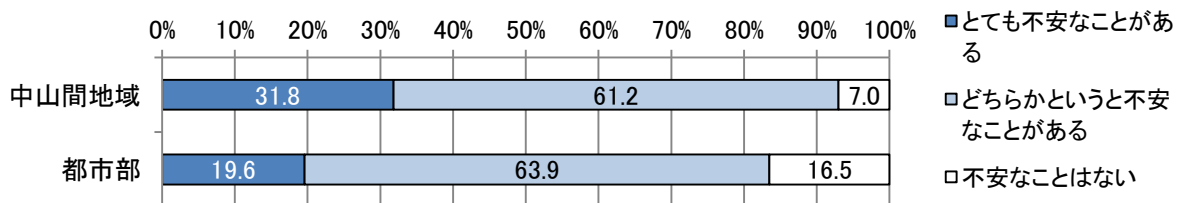
【重視する要素】(中山間地域)(上位10項目)(複数回答)



■ 将来への不安

中山間地域に住む約9割の住民が「不安」を抱いており、「自身の健康」や「家族の健康」、「収入」などが不安要素として上位に挙がっているほか、「家屋や田畑の管理」、「生活交通」、「有害鳥獣の発生」などが、都市部を大きく上回る中山間地域特有の不安要素として挙がっている。

【将来への不安】



【不安の要素】(複数回答)

